

公演ガイドライン

新型コロナウイルス以後の「新しい生活様式」時代に、音楽をお楽しみいただく環境づくりには、現況を踏まえた最新・最大限の感染予防対策を行うことが最も重要です。今後の公演では、下記の感染予防対策を講じた上、公演活動を再開いたします。

音楽・芸術文化に親しむ、豊かな日々のために、会場管理者・主催者・アーティスト・お客様が、感染予防の共通認識をもち、一丸となって行動することが大切です。みなさまのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

ご来場者様へのご協力のお願い

- すべてのお客様の安心のため、マスクを着用の上ご来場ください。
- 出発前にご自宅で検温し、37.5℃以上の発熱があった場合、また5日以内に平熱を超える発熱をされた方はご来場をお控えください。
- 会場入口で検温させていただく場合にはご協力をお願いいたします。
- 咳エチケット、マナー（咳、くしゃみの際は、ハンカチやティッシュ等で口と鼻を被い、他の人から顔をそらす）をお守りください。
- 手洗い・手指の消毒の徹底をお願いいたします。会場スタッフが手指用の消毒液を噴霧させていただくことがあります。
- 会場では社会的距離を確保し、密接、密集した長時間の会話はお避けください。
- 下記の症状に該当する場合は、来場をご遠慮ください。
咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- 発熱・咳・息切れなどの症状がある場合は、会場に向かう前に必ず、保健所等に設置される「相談窓口」に、電話等で問い合わせ、その指示に従って、指定された医療機関で受診してください。
- 公演日を含んだ14日以内に、政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国や地域への訪問歴がある方はご来場をお控えください。
- ご家族または新型コロナウイルス感染症陽性と判明した方と濃厚接触された方はご来場をお控えください。
- 会場内で気分が悪くなった場合は、決して無理をせず速やかにスタッフにお申し出ください。
- プレゼント、差し入れ等はお控えください。
- 入り待ち・出待ちはご遠慮ください。
- 公演中に感染が疑われた場合、速やかにしかるべき方法で隔離、保健所へ連絡させていただきます。
- コロナウイルス感染および拡散防止の為、スタッフはマスクを着用の上、業務させていただくことがございますので、予めご了承ください。
- 会場・主催者が要請するルールやマナーを遵守いただけない場合は、退場をお願いすることがあります。
- 接触確認アプリなどを活用することがあります。
- 当日券を販売する場合は、万一の感染者発生に備え、個人情報収集させていただきます。

- 万一、感染者が発生した場合、要請に応じて会場や公的機関へ情報が提供されることがありますので、あらかじめご了承の上、ご来場ください。なお、チケット等の受付情報は公演1ヶ月後に破棄いたします。
- 公演に関する最新情報はアーティスト公式サイト、またはSNSでもご確認ください。

以下の場合には、入場をお断りする場合がございます。

- 発熱があり検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合。
- 咳・咽頭痛などの症状がある場合。

アーティスト（出演者）及び、公演関係者感染予防対策について

- 事前に検温を行います。37.5℃以上の発熱があった場合は出演・勤務を取りやめます。
- アーティストに37.5℃以上の発熱があった場合は、演奏者・内容を変更して公演を行います。また、当日に中止の判断をする場合もあります。
- 下記の症状に該当する場合は、演奏者・内容を変更して公演を行います。
咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- リハーサル等はガイドラインに従い、マスクを着用し、適切な間隔をとって行います。
- 感染拡大予防のため、マスク着用で演奏することがあります。
→楽屋および舞台上のより詳細な項目は「楽屋および舞台上におけるガイドライン」でご確認いただけます。

公演開催時の具体的な対策について

公演開催前に施設管理者へ会場状況を確認、公式サイト（<http://lesfreres.jp/>）に情報を表示します。

チケット販売開始時に関すること

- チケット販売時に下記の調整を行います。情報更新時は、公式サイトにてお知らせします。
 - ・開場・休憩時間の延長
 - ・日時や座席の指定予約による人数調整
 - ・大人数での来館を制限するための購入枚数制限
- 公式サイトで各会場の感染予防対策情報を表示します。

入場・チケット窓口・物販・トイレ等に関すること

- 入場について
密集を回避し、社会的距離を確保するため、下記の対策を行います。
 - ・開場・休憩時間の延長
 - ・入場時のチケット確認（もぎり）の簡略化、お客さまご自身による半券もぎりなど
 - ・入場待機列の設置
 - ・日時や座席の指定予約による人数調整
 - ・大人数での来館を制限 等
- チケット窓口・関係者受付周辺
 - ・対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽します
 - ・チケット窓口の行列では、最低1m（できるだけ2m）の間隔を空けた整列を行います
 - ・当日券を販売する場合は、万一の感染者発生に備え、個人情報収集させていただきます
- プログラム・チラシ・アンケート等の手渡しによる配布は行いません。
- 物販コーナー
 - ・対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽します

- ・物販を行う場合は、多くの方が触れるようなサンプル品・見本品は極力取り扱いません
- ・物販コーナーの行列では、最低1m（できるだけ2m）の間隔を空けた整列を行います
- ・販売員は可能な限り手袋を着用し、金銭授受はトレイを介して行います

- トイレではハンドドライヤーの使用を禁止とし、社会的距離に考慮した整列を行います。
- 退場時は社会的距離を保ちつつ、順番でのご案内となる場合があります。
- 当面の間、サイン会は行いません。

会場設備に関すること

下記を会場または主催者に事前に要請、確認します。

- 施設内の適切な感染予防
 - ・ドアノブや手すり等不特定多数が触れやすい場所の消毒
 - ・施設内の十分な換気
 - ・手指用の消毒液の設置と設置数に応じた入場口数の設定
 - ・公演の前後及び公演中、休憩中の会場内の換気
- 公演会場入口での取り組み
 - ・手指用の消毒液を設置
 - ・会場入口の行列は、最低1m（できるだけ2m）の間隔を空けた整列
- チケット窓口
 - ・対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽
 - ・チケット窓口の行列では、最低1m（できるだけ2m）の間隔を空けた整列
- ロビー、休憩スペース
 - ・対面での飲食や会話を回避するような表示や館内放送等
 - ・公演前後及び休憩中に、人が滞留しないような工夫
 - ・ロビーでの社会的距離を保つ椅子やソファの配置
- トイレ
 - ・ハンドドライヤーの使用禁止
 - ・最低1m（できるだけ2m）の間隔を空けた整列
 - ・ふたがある場合は、ふたを閉めて汚物を流すよう表示・掲示すること
- 飲食施設、ショップ等
 - ・現金の取扱いをできるだけ減らす工夫
 - ・飲食物を提供する場合、家族等の一集団と他の集団との距離が概ね2m以上となるよう座席を配置
 - ・混雑時の入場制限
 - ・食器、テーブル、椅子等の消毒
 - ・社会的距離に配慮した座席配置
 - ・飲食施設に関わる従業員は、マスクの着用と手指消毒を徹底し、飲食施設の利用者も手指消毒を行ってから入場
 - ・対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽
 - ・物販を行う場合は、多くの方が触れるようなサンプル品・見本品は極力取り扱わない
- 楽屋
 - ・楽屋および関係者入口周囲の消毒
 - ・手指用の消毒液を設置
 - ・次亜塩素酸水の設置（楽屋口）
 - ・赤外線体温測定計（非接触型）による体温チェック

このガイドラインは、2020年5月14日に発行された公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、ならびに2020年6月13日に発行された一般社団法人ライブハウスコミッション等が策定した「ライブホール、ライブハウスにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」をもとにレ・フレールチームで作成したものです。

このガイドラインは、表記日時からあらたに改訂される期間のものであり、感染動向や専門家の知見をもとに適宜見直しをする予定です。

楽屋&舞台上におけるガイドライン

このガイドラインは公演時の「楽屋&舞台上におけるガイドライン」です。公演全体のガイドラインは別途「公演ガイドライン」でご確認ください。

公演関係者の身体的距離の確保等

- 公演関係者間で2mを目安に（最低1m）身体的距離が確保できるよう、スタッフを兼任とする等の工夫を行い、公演関係者の人数は必要最小限に限定します。
- また、公演関係者は4㎡の中に1人となるような形で他者との身体的距離を確保します。
- 身体的距離の確保が困難な場合、パーテーション、フェイスシールド等、身体的距離を置くことと同等の効果を有する措置を講じます。
- 公演関係者の人数を最小限にすべく、ワークフローの最適化を試みます。
- 仕込み、リハーサル、撤去等において、十分な時間を設定し、密な空間の発生防止に努めます。
- 見学者、公演関係者の家族・知人等の公演の開催に必要不可欠とはいえない者は公演会場等には立ち入らないものとします。
- その他、制作過程においても十分な感染防止策を講じます。
- 公演関係者の緊急連絡先や勤務状況を把握し、名簿を作成します。名簿は3週間より長い期間保管することとします。また、公演関係者に対しこうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知するとともに、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講ずることとします。
- ステージの周辺は飛沫感染のおそれがあるため、ステージ周辺で作業を行う公演関係者は、作業の前後に手洗いや手指消毒を行うとともに、ステージ機器の消毒を徹底して行います。

ステージ上の身体的距離の確保等

- 表現上困難な場合をのぞき、原則としてマスク着用を求めるとともに、出演者間で十分な間隔をとるようにします。
- 出演者は、公演中も出演者同士の身体的距離の確保として、2mを目安に（最低1m）確保するよう努めます。また、身体的な接触は控えます。
- マイクは出演者ごとに用意し、使い回しはしません。マイクの使用の前後には、手洗いや手指消毒を行うとともに、使用した機器の消毒を徹底して行います。

公演会場等の利用に関して講じるべき具体的な対策

- スタッフ入口及び楽屋口ビーにアルコール手指消毒剤を設置し、手指消毒を奨励します。
- ドアノブ、手すり等の公演関係者が接触する可能性がある設備及び共有する機器に関しては、頻繁な清拭消毒を行うものとします。
- 機材や備品、用具等の取扱い者を選定し、不特定者の共有を制限します。
- 会場の換気機能が脆弱な場合、扇風機、サーキュレーター等を利用し換気を行うものとします。
- 楽屋、控室、スタッフルーム等は常時換気を行うものとし、またドアノブや椅子等、手が触れる場所は定期的に消毒を行います。

食事とケータリング

- すべての食事は表面の汚染を防ぐ方法を用い、1回分ずつ分けて配布するのとしします。また、すべての飲み物は1回分用の容器に入ったボトルや缶で提供するものとしします。ビュッフェ形式での提供は行いません。
- 食事の際は、身体的距離の確保として、2mを目安に（最低1m）確保するよう努めます。身体的距離を確保することができない場合は、時間をずらして複数組に分割する、パーティションを設置する等の形態で提供を行うものとしします。また、真正面の配置は避けるものとしします。
- 食事を扱うスタッフは、事前に手洗いや手指消毒を行います。
- 食事時の会話はなるべく控えるものとしします。

トイレ

- トイレの蓋をしめて汚物を流すようにします。
- ペーパータオルを使用するか、個人用にタオルを準備します。ハンドドライヤーは使用しません。
- 公演関係者が公演会場等に入る前に、床、便器、ドアノブを消毒します。